

令和4年度

学校関係者評価報告書

令和5年3月

山梨県立宝石美術専門学校

令和4年度 学校関係者評価報告書

山梨県立宝石美術専門学校では、関係業界、経済団体、高等学校校長、保護者等からなる「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が実施した自己評価の結果に関する評価を行い、多くの貴重なご意見やご指導をいただきました。

今後とも、学校関係者評価を計画的、継続的に実施し、本校教育の質の向上、学校運営の改善強化に向けて取り組んでく所存です。

1 学校関係者評価委員名

松本 一雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合理事長	
清水 幸雄 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会	委員長
鈴木 竜樹 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会	委員 (ジュエリー部会)
深澤 陽一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会	委員 (宝石研磨部会)
詫間 康二 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会	委員 (水晶美術彫刻部会)
雨宮 和也 氏	山梨県水晶宝飾協同組合宝石学校委員会	委員 (貴金属工芸部会)
内藤 恵一 氏	山梨県水晶宝飾協同組合専務理事	
興 石 寛 氏	甲府商工会議所	専務理事
田代 剛久 氏	山梨県立甲府城西高等学校	校長
飯嶋 武志 氏	保護者 (後援会会長)	
三科 隆人 氏	山梨県産業労働部産業振興課	課長

2 評価委員会の実施

開催日 令和5年3月7日 (火)

場 所 宝石美術専門学校 多目的教室

3 実施方法及び公表

評価委員会では、学校が実施した「自己評価」の結果及び活動状況、アンケート結果について事務局より説明し、ご意見をいただきました。

また、委員の皆様には、基準項目毎に次の4段階で評価をいただき、平均値を記載いたしました。

4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

なお、評価の観点は次の項目によるものとしました。

- ・自己評価の内容が適切か
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策などが適切か
- ・学校の重点目標や具体的方策などが適切か
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

これらを本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かして

本校教育水準の向上に努め、またホームページ等に公表します。

4 学校関係者意見・提案等

【1. 教育理念等】

評価平均：3.3

現状の取組及び自己評価
<p>○教育理念、教育目標、教育方針は定められており、学生便覧、ホームページ等で公開し、周知を図っている。また、教職員に教育理念等は共有、徹底されている。</p> <p>○開校以来、より充実した教育内容を目指すと共に将来の方向を考慮した学校改革を行い、「専門知識・技術の高度化」や「国際化への対応」などを目指し取り組んでいるが、コロナウィルス等に伴う社会情勢の大きな変化がある中で、本校に求められている社会経済のニーズ等をしっかり把握し、反映していきたい。</p> <p>○学則等は整備されており、改正が必要な場合にはその都度行うこととしている。</p>
学校関係者意見・提案
<p>○自己評価の中で、教育理念、教育目標、教育方針の学生、保護者、関係業界への周知の値が低いのが気になりました。昨年、県内の県立高校は全て、スクールポリシーの策定を行っています。現在、全国どこの高校・大学でも策定し、HP上にものせているので、高校生やその保護者も見慣れてきています。貴学においても、スクールポリシーの策定をすれば周知しやすくなる一案かと思いました。</p>

【2. 学校運営】

評価平均：3.0

現状の取組及び自己評価
<p>○教育理念等に沿った学校の取り組み方針は教職員間で共有され、定期的開催される職員会議において、情報交換、情報共有されるほか、組織的な判断が必要なものは会議の議題として取り上げ、意思決定がなされており、学校運営は有効に機能している。</p> <p>○教育活動等に関する情報は、ホームページへの掲載等で公開している。ホームページについては分かりやすい内容となっているものの、改善を図っていく必要がある。</p> <p>○学校の安全管理等については、危機管理マニュアル及び防災計画を定め、体制を整えるとともに、毎年度初めに防災訓練を実施し、学生への避難経路の周知及び防災意識の高揚に努めている。</p> <p>○校内へ情報システムを導入し業務の効率化が図られているが、本年度は機器の更新を行ったため、安定性と容量について改善が図られた。</p> <p>○コンプライアンス体制については、職場研修を実施するなどして職員意識を醸成するとともに体制の整備を図っていく。</p>

- 教育活動に関する情報公開は、各種コンテストへの参加、学習成果品の発表などをホームページに載せる等公開しているが、さらに改善を図っていく。
- 情報システムを導入し業務の効率化が図られているが、今後も必要に応じて改善を図っていく。

学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案

- ホームページは構成等見やすく分かりやすいと感じますが、学生の自由記述にもあったように、フォト&ムービーが見ることができないことや、更新日時が数年前のページがあったりしたので、そこは改善の余地があると思います。
- ホームページへの改善が必要なのは何か明記して欲しい。改善が必要なのが先日の会議のとおり陳腐化した部分のみということであれば、予算を取り早急に改善するか部分削除すべきと考えます。学生の力を借りて、SNSを含め発信方法を検討していくべきではないでしょうか。
- 昨年度もホームページの改善について、アンケートなどで意見があったが、今年も同様な意見が多い。学生や入学希望者のウェブ利用状況を鑑みると、ホームページに加えSNSの充実を図ることが必要。

【3. 教育活動】

評価平均：3. 2

現 状 の 取 組 及 び 自 己 評 価

- 教育理念等に沿ったカリキュラムを策定しており、カリキュラム編成時には到達レベル確保のための必要な学習時間を確保し、シラバスに目標、内容を明示している。そのシラバスに基づき教員は授業を実施している。
- 教育目標の実現のため十分に要件を備えた教員を確保し、シラバスに基づいた授業を実施している。
- 学生が就職を希望する職種（業務）に向けて、高度な技能の習得が可能となるよう選択科目を設置しており、高度な技術を有する職人を非常勤講師として招聘し、産地の特質を生かした指導を充実させている。
- 市場や業界の状況を勘案し、毎年度カリキュラムの作成、見直しを実施するとともに、自己研鑽だけでなく教員向けの研修等を実施するなど、能力向上に努めている。
- 就職活動を円滑に進めるためのカリキュラム「企業研究」の一環としてインターンシップは業界と連携して実施している。
- 成績評価、単位認定等の基準は規程等に定めおり、それに基づいて職員会議で判定を行っている。

学 校 関 係 者 意 見 ・ 提 案

- 高度な技術を有する職人の指導を受けられることは、生徒にとって大変有益だと感じます。ただ、自己評価の中で、企業実習（インターンシップ）の業界との連携に関する自己評価が低い値であることが心配に思います。様々な課題があると推察しますが、両者の連携強化を図りながら企業実習（インターンシップ）の推進を期待します。
- 「資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるのか。」を次回から評価項目に入れて下記の記載を行って欲しい。
 （参考）文科省評価指標（資格試験）（1）対策方法（2）合格率（推移）
 組合から要望しているレベルアップ策について課題と改善策を明記して欲しい。
- グローバル化対応について、業界の持っている生の海外情報をインターンシップなどを通じて学生に伝えてもらうのも一案と考える。
- 授業内容の鑄造の部分に関して、地金についてカリキュラムに取り入れてもらえるといいのでは。
- 国際情報に関して、コロナ禍ということもあったかと思いますが、製造現場の現状として国内・国外の実践的な部分をもう少し知ることができる場所があればより良いのではないかと思います。

【4. 学習成果】

評価平均：2.8

現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ○学生に業界への就職を働き掛けると共に、学校において企業説明会の開催、水晶宝飾協同組合青年部との交流会などを実施し、関係業界への就職率の向上に務めている。本年度の卒業生26名のうち業界志望24名、就職率は100%であった。 ○各種検定、試験等の合格率の向上のため担当教員が連携して組織的な指導体制を組んでおり、毎年一定の合格者を出しているが、今後も合格率向上に努めていきたい。特に五能五輪全国大会には本校から4名出場し、昨年に引き続き銅賞を受賞。そのほか各種コンペティションへの出品も推奨しており、多くの入選者を輩出している。 ○休学者等は、体調不良や成績不振、また退学者は進路変更や成績不振などが要因となっており、各担任が個別にきめ細やかな対応をするとともに、教員間で情報共有し、未然防止に努めていく。 ○卒業後の実態把握は同窓会が解散したこともあり、困難な点もあるが、随時調査を実施し、その状況を今後の教育活動の改善に活かしていく。
学校関係者意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> ○関係業界への就職率が100%と、就職に繋がっている点は高く評価できると思います。

- 自己評価の中で、休学者や退学者に関する項目の値が低くなっていますので、早急な手立てを考えて実行することが必要と感じます。
- 技術検定の合格率は上がっているのか、検定の結果は具体的に記載して欲しい。
(参考) 文科省評価指標 (入学者の状況) 資格取得率・推移
- 卒業生の実態把握と、その情報の学校運営への活用を検討してみてもは。
- 就業後の定着率 (3年間ほど) の把握をして欲しい。
- 同窓会の復活を望みます。

【5. 学生支援】

評価平均：3.5

現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ○教員の学生への対応は、公平・平等に対応しており。各担当だけでなく教員間で情報共有し、学習その他の相談について適切な支援ができるよう努めています。 ○就職に関する支援は、学生への情報提供、個別相談等に加え、新たに企業研究というカリキュラムを設定して、就職活動を支援することとした。 ○経済的に困窮している学生に対しては、日本学生支援機構の奨学金の紹介や、授業料減免の規定により遺漏ないように対応している。 ○学生の健康管理については、危機管理マニュアルに基づく対応のほか、保健室の設置、年度当初の健康診断、学校医との連携に加え、昨年度からカウンセラーを配置するなど適切に対応している。 ○学生が行う自治会活動やクラブ活動においては、担当教員を選定し、適切に支援している。 ○学生に対しは随時、各担任による個別ヒアリングを実施するなど支援している。 問題が発生した場合、保護者へ連絡するなど適切に連携して対応している。 ○卒業生からの相談に対しては個別に対応している。
学校関係者意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> ○自己評価や学生へのアンケートからみて、学生に対する支援も概ね良好と感じました。

【6. 教育環境】

評価平均：3.3

現状の取組及び自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ○学内の実習環境は現在のカリキュラムに対応できるよう整備されている。 ○設備は計画的に更新をできるよう、予算要求を行い教育上の必要性に応えることとしているが、予算化が困難な場合には、適宜見直しを行い対応することとしている。

○教室は申請により授業外に開放しているほか、交流スペースではインターネット接続が可能な環境が整備されているなど、自主的な学習をサポートしている。

学校関係者意見・提案

○充実しているものと感じます。

○学生自ら学ぶ意欲を持つ必要があり、自主学習を一定時間与えて欲しい。また、産・学・官で場所の提供等について今後考えていきたい。

【7. 学生募集】

評価平均：3.5

現状の取組及び自己評価

○担当職員が学校訪問を実施し、本校の特色、実績等の情報を提供するほか、各学校の合同説明会に参加するなど、情報の提供を行っている。

○募集の情報は、ホームページ、学校案内、募集要項などにより広く情報提供するとともに、オープンキャンパス、県内外の学校訪問などにより周知を行っている。

○6月に全国のデザイン系、美術系、総合学科の高校（約700校）への学校案内等を送付しているほか、長野県・静岡県の高校へは随時イベント等の情報提供に加え、今年度は、長野県のデザイン系の高校を中心に訪問し募集活動を行った。

○学校案内には、学習の流れや講師陣、施設設備、取得可能な資格情報等を掲載するなど、学生が必要とする情報を毎年工夫しながら掲載している。

○本年度は、実技体験を含むオープンキャンパスを5回、リモート説明会を5回、合同説明会、個別の学校案内などにより、本校を受験の契機となるよう努めた。

学校関係者意見・提案

○新たな試みとして、長野県のデザイン系を中心に高校を7校訪問するなど精力的に募集活動を展開していると感じました。また、中部横断道の開通により、格段に距離が縮まった感のある静岡県をメインターゲットに募集活動をするのも、一つの策かと思えます。

○学生募集については、取り組みも充実し、成果が上がっていて、多いに評価できる。

○資格取得状況の情報について、公開資料の中に見つけることができなかった。志願者にとって必要な情報であるため、わかりやすい場所に示すべきである。

【8. 法令等の遵守】

評価平均：3.7

現状の取組及び自己評価

○関係法令、専修学校設置基準等を遵守し学校運営を行っている。

○個人情報保護に関する法令等を教職員へ周知し、遵守し対応している。

学校関係者意見・提案
<p>○特に問題ないと感じました。</p> <p>○ガイドラインに則った自己評価に変更したことは高く評価できるが、改善すべき課題は、ホームページの陳腐化した部分の訂正にとどまっている。課題が把握できなければ改善は不可能と思われるので、積極的に課題を提起し、改善に繋げて欲しい。</p>

【9 社会貢献・地域貢献】

評価平均：3.0

現状の取組及び自己評価
<p>○夜間講座は2講座開催したが、見直しを検討している。</p> <p>○学校の交流スペース等は一般開放しているが、現在はコロナ感染症対策により施設の開放は控えており、今後の状況を見ながら対応していく。</p> <p>○地域との連携として、山梨中央銀行本店北側の展示スペースに展示をするなどの取り組みを行っている。</p>
学校関係者意見・提案
<p>○身に付けた技術を活かしてボランティア活動ができれば、学生にとってもやり甲斐を感じるだろうし、地域の方々へのPR効果も期待できるのではないのでしょうか。例えば、交流スペースを活用しての、〇〇市と銘打って定期的に販売会を行うなど</p> <p>○高度技術専門コースの活用について、知事の公約にある特別収斂コースの設置による名人技の伝承を実現してもらいたい。</p>